

# 山口県医師会報

平成30年(2018年)

1月号

— No.1889 —

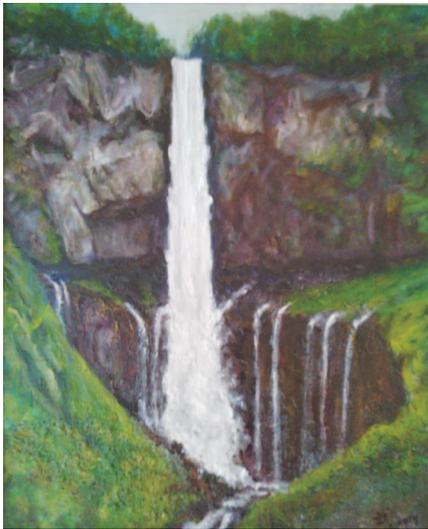
新年特集号



炉辺談話

## ● 表紙の写真に寄せて 小野田 坂部 武史

新しい年を迎えるにあたり、生命をはぐくむ「水」をモチーフに、油彩画 3 点を選びました。



### 表紙「華巖の滝」

日光華巖の滝の発見者は勝道上人と伝えられ、仏教経典の一つである華巖経から名づけられたとされています。何年か前におとずれた時のスケッチをもとに油絵にしました。中禅寺湖から流れ出て高さ 97 メートルの岩壁を一気に落下する壮大な滝で、爆音と水しぶきに圧倒されました。

### 「ヨータ (イェータ) 運河」(スウェーデン)

19 世紀初期に建設された運河で、ヨーテボリからバルト海まで伸びています。現在は、ヨーテボリとストックホルム間の観光船旅に利用されています。高低差のある水路を、水門の開閉とポンプによる水位の調整で船が通過していきます。 Lund 大学に留学中 (1978 ~ 79 年)、夏休みを利用して家族で 3 泊 4 日の船旅を楽しみました。



### 裏表紙「氷川丸」

「水」が海に流れ出ると世界につながり、どこかに行きたくなります。この氷川丸は日本郵船が 1930 年 (昭和 5 年) に竣工した貨客船で、北太平洋、シアトル・ニューヨーク、および欧州航路で 1960 年 (昭和 35 年) まで運航されました。戦時中は政府徴用船や海軍特設病院船としても航行しています。現在は横浜港に博物船として繋留されています。美しい船姿に魅了されます。



## 年頭所感

山口県医師会長 河村 康明



### ～ 看護学校を守る ～

明けましておめでとうございます。

平成 30 年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ご案内の如く、本年は診療報酬と介護報酬の同時改定の年であり、また、地域医療構想や地域包括ケアシステムが現実のものとして作動するという年でもあります。このような諸課題は人口構成の変化を抜きにしては語れませんが、医師会として何をすべきか、一医師として何をすべきか、考えさせられるところでもあります。

私自身も山口県医師会長に就任して 1 年半が経過いたしました。医師会活動の重要性をますます感じております。今後、更に努力を重ねる所存でございますので、よろしくお願いいたします。

冒頭に標語の如く載せた言葉が、現在の偽らざる気持ちであります。医師会立看護学校の存続の厳しさは想像を超えるものです。しかしながら、特に准看護師につきましては、会員諸氏の医療機関におかれましても重要な戦力であることは間違いありません。近い将来、現在の主力である 50 ～ 60 代の准看護師の人々が徐々に減少していくことを考えると、看護師不足がやってくるのは火を見るより明らかであります。財政状態、看

護教員問題、准看護師の正看護師への道などに対するあらゆる手立てを考えていくつもりです。日本医師会での会議でも事あるごとに申し上げておりますので、皆様方の一層のご協力をお願いするところです。

山口県医師会は、現在、多くの諸課題を抱えております。地域医療構想は調整会議まで進んでおり、地域包括ケアも開始されます。とりわけ、われわれに重要な役割が任される在宅医療や他職種との連携、看取りに関しては主戦力が 50 ～ 60 代の医師であり、後継者としての若手医師の育成が重要となっております。この課題は、“医師とはいかにあるべきか” といった、医学教育の理念とも関連しますため、ご理解をいただきながら対処して参りたいと思っておりますので、よろしくご理解ください。

最後に、平成 30 年の難局に当たり、会員諸氏の絶大なご協力をお願いして、年頭のご挨拶と致します。

## 年頭所感

日本医師会長 横倉 義武



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、7月に甚大な被害をもたらした九州北部豪雨や9月の大型台風21号の発生など、各地で大雨や台風を始めとする天候不順により自然災害が相次ぎ、多くの方々が被災され避難生活を余儀なくされました。会員の先生方におかれましては、日本医師会災害医療チーム(JMAT)の活動を始め、被災地の医療支援、感染症対策等にご支援・ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

昨年10月、世界医師会(WMA)シカゴ総会において、私は第68代WMA会長に就任いたしました。日本人としては、1975年の武見太郎先生、2000年の坪井栄孝先生に続く3人目になります。

WMAは、1947年に設立された114の各国医師会が加盟する世界の医師を代表する組織です。本部はジュネーブ近郊のフェルネイ・ボルテア(フランス)に所在し、WHOや国連等の国際機関と連携して世界中の人々の健康水準の維持、向上に努めています。日本医師会は、1951年の第5回WMA総会で加盟し、現在、会長、理事3名を有してその活動に貢献しています。

私は今回の就任に際し、国民の健康寿命を世界トップレベルにまで押し上げてきたわが国の優れた医療システムを世界に発信し、グローバルなレベルでの健康長寿社会の実現に寄与して参りたい

という強い思いを述べました。年を新たにし、改めてさまざまな分野での医療協力・パートナーシップを深め、人材の能力開発・生涯教育の一層の推進など、WMAの果たすべき任務を遂行してゆく責任の重さを痛感しています。

また、昨年9月には、アジア大洋州医師会連合(CMAAO)東京総会を第35代CMAAO会長として主宰いたしました。CMAAOの活動をより活性化させ、地域住民の健康の増進に努めながらWMAとの関わりをより一層緊密なものとし、当該地域の医師の声がWMAに届くよう努めることは、両団体の活動に深く携わる日本医師会長、CMAAO会長、そしてWMA会長としての私のもう一つの大きな使命であると位置づけています。

歴史を振り返りますと、わが国が世界のトップレベルの健康長寿を達成してきた背景には、国民皆保険の下、われわれ医療従事者の献身的な努力があったという事実があります。戦後の経済復興の過程には、国民が安心して仕事をし、生活を送るための基盤として国民皆保険がありました。国連が2016年に開始した2030年に向けての「持続可能な開発目標、SDGs」には「誰一人取り残さない」という国民皆保険に通じる理念があります。1961年に実現したわが国の国民皆保険は50年以上に亘り国民の健康を支え、Universal Health Coverage(UHC)のあるべきモデルとして高く評価されており、何としてもその仕組みを堅持していかなければならないと考えています。

高齢社会の抱える問題の一つである終末期医

療については、会内の生命倫理懇談会でも提言を取りまとめていただきましたが、WMA でもそのあり方、とりわけ安楽死などの問題を検討してきました。WMA の地域会議として開催された CMAAO 東京総会における「終末期医療」をテーマとしたシンポジウムでは、アジア諸国にはさまざまな宗教が存在し、宗教が終末期のあり方にも影響していること、また、膨大な人口、家族、地域共同体の結びつきが非常に強固であり、終末期医療における意思決定にも関わっていることが報告されました。昨年 11 月にはバチカン市国において「WMA 欧州地域終末期医療シンポジウム」が開催され、医療、法律、緩和ケア及び医療倫理の専門家、神学者、哲学者などが参加し、患者の権利と治療の制限など、終末期医療に関する世論への理解を深めるための議論が行われました。また、3 月にはラテンアメリカで、本年 2 月にはアフリカで同様の会議がそれぞれ開催され、今後、各地域の意見を集約した WMA としての方針を政策文書としてまとめていくことになっています。

一方、国内に目を転じますと、働き方改革が重要な課題となっています。日本医師会はこの問題に関して、医療現場の実情と「応召義務」に配慮した方策を強く求めてきました。その結果、政府は「医師の働き方改革に関する検討会」を設置し、医師の働き方について別途、議論を進めています。3 月までには、会内に設置した「医師の働き方検討委員会」の答申も取りまとめられる予定でありますので、それらの意見も踏まえながら、引き続き、国に対して意見を述べていきたいと思ひます。

また、少子高齢化の一層の進行が予想される中で、社会保障費は、医療、介護などを中心に今後も増加することが見込まれ、その財源をどのように賄っていくかについても大きな課題となっています。財政緊縮の立場から、成長戦略や規制緩和の名の下に、保険給付範囲を狭める圧力が予想されますが、国民皆保険を堅持していくためにも、われわれ医療側から生涯保健事業の体系化による健康寿命の延伸など、過不足のない医療が提供できるよう、適切な医療を提言し、時代に即した改

革を進めていく必要があります。

わが国では、フリーアクセスによる外来へのアクセスの良さが病気の早期発見・早期治療に寄与しています。その中心を担う「かかりつけ医」をまず受診することで、適切な受療行動、重複受診の是正、薬の重複投与の防止等も可能となり、医療費の適正化も期待できます。日本医師会としては引き続き「かかりつけ医機能研修制度」を実施することで、「かかりつけ医機能」の更なる向上を目指して参る所存です。

また、日本医師会では、より良い医療のあり方について、国民と医師とが共に考えながら、更なる国民医療の向上に寄与していくことを目的として、日本医師会の設立記念日と「いい（11）医（1）療」の語呂合わせにより、11 月 1 日を「いい医療の日」に制定しました。広く国民に周知されるよう、今後もさまざまな活動に取り組んでいきたいと思ひます。

最後になりますが、私は国民に寄り添い、国民の健康を守ることが医師の役割であり、その医師の声を基に、国に対してさまざまな政策を提言していくことが日本医師会の役割であると考えています。今後も WMA と CMAAO の会長として、日本のみならず世界に広く目を向け、理念を高く掲げ、人々の健康、福祉の向上に努めて参りますので、会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 年頭所感

山口県知事 村岡嗣政



明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げますとともに、皆様にとりまして、今年が素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。

さて、本格的な少子高齢社会を迎える中、私は、「活力みなぎる山口県」の実現を県政運営の基本目標として掲げ、その取組の指針となる「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」に基づき、新たな県づくりに取り組み、一定の成果を上げてきたところです。

今年は、明治改元から 150 年を迎えるという記念すべき節目にあたります。日本の近代化を成し遂げた先人たちの志と行動力に改めて学び、県政最大の課題であります人口減少問題などに立ち向かうため、これまでの取り組みの成果の上に立ち、本県の未来を見据えた県づくりを力強く進める必要があると考えています。

なかでも、一人ひとりのいのちが大切にされ、不安なく暮らせることは県民生活の基本であり、生涯を通じて健康で安心して暮らすことができるよう、医療・介護の充実に向け、医師や看護師等の養成・確保をはじめ、医療機能の分化・連携の推進、がん対策や救急医療体制の充実、地域包括ケアシステムの構築等について、引き続き推進してまいります。

また、少子化の流れを変えるためには、社会全体で結婚や妊娠・出産、子育てを支える環境づくりが重要となることから、周産期医療や小児医療の充実等についても引き続き積極的に取り組んでまいります。

そうした中、本年度は、本県における総合的な保健医療提供体制の指針となる保健医療計画の改定の年にあたり、「第 7 次山口県保健医療計画」の策定に向け、作業を進めているところです。

本計画は、少子・高齢化の進行や生活習慣病の増加など疾病構造の変化、情報化の進展など、医療を取り巻く状況の変化に対応しながら、より県民のニーズに即した良質かつ適切な保健・医療サービスを提供できる体制の整備を計画的に推進するためのものであり、県民の安全・安心を支える保健医療提供体制の構築や地域の保健医療を担う人材の確保等に取り組むこととしています。

もとより、こうした施策を着実に進めていくためには、県医師会の皆様のお力添えが不可欠と考えていますので、一層の御支援と御協力を賜りますようお願いいたします。

さて、本年 9 月 14 日から 11 月 4 日までの 52 日間、山口きらら博記念公園において、明治 150 年プロジェクトの中核イベントとして、「山口から開花する、未来への種まき。」をテーマに「山口ゆめ花博」を開催いたします。

開催するにあたり、県医師会にも御尽力をいただいておりますが、県内外の多くの方が楽しめる「体験・体感する」都市緑化フェアとしていきますので、併せて皆様方の積極的な御参加・御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は「戊戌（つちのえ・いぬ）」です。「戊（つちのえ）」には「植物の成長が絶頂期にある」という意味が、「戌（いぬ）」には「作物を収穫し、ひとまとめに締めくくる状態」という意味があり、物事が盛りで、その大きな成果が現れる様子を思わせます。

県では、「産業維新」、「大交流維新」、「生活維新」の「3つの維新」に積極的に取り組み、関係団体をはじめ市町や県民の皆様と連携・協働することにより、大きな成果が現れる年にしたいと考えていますので、皆様の御支援と御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



端（はしっこ、さきっぽ） その 12  
 徳山 若林 信生

三重県の伊勢・志摩地方はリアス式海岸と海岸線が複雑な為に“端”がアチコチにあり、狭い範囲なのに一日では回り切れない数の「さきっぽ」がある。

熊野灘は黒潮の流れが速く、海は荒れやすく、海岸線が複雑で暗礁が多く、古来、海の難所として知られたところである。その為に明治になってから諸外国が海の案内標識である灯台の設置を要求したのは当然な事と思われる。そういう理由で日本でも洋式灯台が比較的少ない明治の初めころに、この地方に2か所もの灯台が建てられた。また、この地方には有名な灯台が多く“日本の灯台50選”に4か所も選ばれているのは納得できる。私は、この地方の端と灯台を巡ってきたので紹介しましょう。

志摩半島の最東端がよろいざき鎧崎である。鳥羽市から海岸線の県道750号線～128号線（パールロードシーサイドライン）を南下して、伊勢市国崎町に至る。国崎漁港には海女小屋があり、十分に駐車するスペースがある。私も此処に車を停めて歩いた。そしてその先は狭い道が続いてはいるが、車

が通れなくはなく、小山のような突端にある小さな神社の下まで車でも行く事が出来たようだ。

ここからは神社のそばの坂を20～30m登れば鎧崎灯台である。この小さな高台に白亜の、八角形の、塔型の、細い、コンクリート造りの高さ約10mのタイル張りの灯台がある。そして外付けの梯子が付いている。高くない崖の上に建っているが、周囲は岩礁であり、眼前は太平洋で景色はすこぶる良い。周辺はアワビやサザエの漁場で、伊勢神宮に奉納するアワビもこの産地らしい。のし熨斗アワビの説明看板があった。海には海女舟が数隻見られ、海女さんが多い所ようだった。

熊野灘に突き出している矢湾を形成する岬があのり安乗崎である。パールロード奥志摩ラインを南下し、志摩のスペイン村を過ぎたあたりで県道61号線に左折し、さらに県道514号線に乗り換え、北上すれば安乗崎である。さきっぽの灯台に近づくと道は狭くなるが、概して道は良い。行き止まりに灯台の駐車場があり、駐車場のそばには安乗岬園地の広場があり、そこには安乗岬休憩所もあり、土産物売っているレストランもある。また安乗

埼灯台資料館がある。その先の崖の上に安乗埼灯台が建っている。

灯台は白く、四角でコンクリート製、高さは約 13 m である。四角い灯台は珍しい。この灯台は参観灯台であるので上まで登ったが、四角の階段を登ったのは初めてで珍しかった。上からの眺めは素晴らしく、的矢湾と岩礁の太平洋が見渡せる。灯台といい周囲の風景といい「日本の灯台 50 選」に選ばれるわけはある。

明治 6 年に建てられた灯台であるが、当初は木製、八角形であった。日本最古の木製の洋式灯台という事で、現在は東京都品川の「船の科学館」に展示されているとの事である。

志摩市大王町波切の熊野灘に突き出した岬が大王崎である。ここに行くには鳥羽から国道 167 号線を南下して志摩市に至るか、またはパールロードシーサイドライン～パールロード奥志摩ラインで同じく志摩市に行くかである。志摩市からは国道 260 号線～県道 515 号線で志摩市大王町に行く。有名な灯台であるので案内標識は十分にある。行き止まりの所に漁協が経営する有料駐車場があるが、何故有料なのか私には分からない。

駐車場から両側に土産物屋が点在する坂道を



四角い安乗埼灯台

登って行く。トンネルのような所を通り過ぎれば眼前に大王崎灯台が現れる。灯台は白垂、円塔形、コンクリート製、高さ約 23m の最も灯台らしい美しい灯台である。この灯台も参観灯台で上からの風景は素晴らしい。太平洋に突き出した崖の上にあるのが良くわかるし、太平洋が丸いとわかる。

また、この辺りは「大王崎の沖で海難事故を起こしても船頭の責任は問われない」と言われたくらい暗礁が多く海難事故も多かったらしい。

画家が最も多く描く灯台で、手前の波切九鬼城址展望公園には画家の銅像まである。そのため「えかきのまち」として売り出している。事実この公園から見る灯台が一番素晴らしい。さすがに「日本の灯台 50 選」に選ばれるわけである。



大王崎灯台

志摩半島の最南端が麦崎である。志摩市の英虞湾を形成する東西に長い半島にある。国道 260 号線を西に向かって志摩片田漁港を目標に進めばよい。海岸線の近道をナビ通りに行けば、片田漁港のそばにある駐車場を目前にして、片田郵便局の横の道路が数メートル狭いところがあり、軽自動車かバイクでなければ通れない。車は国道を少し先まで行って遠回りをして片田漁港にある駐車場に行った方がよさそうだ。駐車場から 15～

20 分海岸線を歩けば太平洋に突き出た小山がある。道は一応整備されているので先に向かって坂を登れば崖の上に麦崎灯台が現れる。すぐそばには東屋や芝生の広場があるので有難い。灯台は白く円塔形で、コンクリート製、タイル張りで高さ約 16m である。眼前は太平洋で水平線が丸く見える。

灯台はちょっとした崖の上にあるが周囲には岩礁など多く、アワビやサザエの漁場で海女さんが多いそうだ。漁期には海女さんの磯笛が響き「日本の音風景 100 選」の選ばれているとの事である。

<sup>すがしま</sup>菅島は鳥羽市の東側にある比較的小さな島で、島の東側は伊良湖水道に面している。

鳥羽駅のすぐ東側に鳥羽港（鳥羽マリーナターミナル）があり、ここから市営の連絡船に乗って 15 分もすれば菅島港に着く。菅島港から時計回りに海岸線を辿り、坂道を登って行けば約 20 分で菅島灯台に着ける。灯台のあるところは菅島の東端で伊良湖水道が目の前である。灯台は白く、円塔形、レンガ造り、高さ約 10 m で、明治 6 年に最初に建てられたものである。現存する最古のレンガ造りの灯台で、職員官舎ももちろんレンガ造りであり、これは愛知県犬山市の明治村に保存されている。この灯台も「日本の灯台 50 選」にも選ばれている貴重なものである。



レンガ造りの菅島灯台

ただ、ここに行くには時期を選んだ方が良くと思われる。私は 9 月初旬の暑い日に行ったが、集落を通り過ぎ山道に入ると突然、蛇の群れが襲ってきた。振り払っても次から次へと襲ってくるので、絶えず体を（特に手足を）動かして振り払わないといけなかった。よって休憩することや水分補給のために立ち止まることが出来ないで、汗びっしょりになりながらも休憩なしの登坂はとてもしんどかった。その為に灯台の写真を撮り終えたらほうほうのていで港に戻った。人家のある所には一匹もいなかったのに……。しかし蛇がこんなに攻撃的な昆虫とは全く知らなかった。

伊勢・志摩地方の「端と灯台」を巡ってきたが、この地方にはもう一か所、明治時代の初期に建てられた灯台がある。鳥羽港から市営連絡船で約 50 分の伊良湖水道の真ん中にある<sup>かみしま</sup>神島にある神島灯台で、「日本の灯台 50 選」にも選ばれている灯台である。今回は時間の都合で残念ながらここには行かなかった。

この地方はリアス式の綺麗な海岸や岩礁・崖、それに砕け散る波およびその音、熊野灘や太平洋の海原、そこに映える白亜の<sup>あたり</sup>灯台のある風景は確かに絵になるようだ。

しかし鎧崎、安乗崎、大王崎の三か所は地方の船乗りさんにも恐れられ、歌にも唄われているように海難事故の多い所だったらしいが、周囲の景色はすこぶる良い。

伊勢・志摩地方の観光場所は多くて枚挙にいとまが無いが、伊勢神宮への「お伊勢参り」や鳥羽水族館、志摩スペイン村、英虞湾、サミットがあった賢島など、とても一日では回り切れない。

<sup>いせげくう</sup>伊勢外宮や<sup>いせないくう</sup>伊勢内宮をはじめ、おはらい町やおかげ横丁には人出は大変多いが、京都と違って外国人が少ないのが特に印象に残った。そして“伊勢うどん”はとても美味かった。

## 眠りの川柳

徳山 篠原 淳一

近年、睡眠まくらや睡眠ふとん、果ては眠りのサプリメントと、良い睡眠への関心が高まっています。

日本人の睡眠時間は先進各国に比較し最も短いのが特徴ですが、最近では「質の良い睡眠で健康な生活を・・・」といった傾向が世間では一般的なようです。

厚生労働省が「健康づくりのための睡眠指針」というものを 2003 年（平成 15 年）と 2014 年（平成 26 年）にそれぞれ公表していますが、これは健康生活の一環として睡眠を取り上げたものです。この 2 回の指針の内容を「良い眠りを得るためには」として川柳風に簡単にまとめてみました。

- ① 良い眠り眠くなったら寢室へ
- ② 居眠りは 15 時までの 20 分
- ③ 眠れずに酒を飲むのは逆効果
- ④ ムズムズ脚、イビキ、無呼吸要注意
- ⑤ リラックス睡眠環境整える
- ⑥ 遅寝早起きは浅い眠りに効果的
- ⑦ 8 にはこだわらないで睡眠時間
- ⑧ ルーズな休日月曜日がつらくなる
- ⑨ たえられない強いねむけは要注意
- ⑩ メリハリをつけて運動朝ごはん
- ⑪ 日光を浴びて動けば不眠なし
- ⑫ 早めの相談睡眠薬をうまく使おう

睡眠指針のおおよそはこういった内容です。

平成 26 年の睡眠指針では「良い睡眠はこころと体の健康維持に大切であり適度の運動、朝食、生活のメリハリが良い睡眠には大切である」ということを強調していて、

1) 睡眠時間は個人差があり人それぞれである。

また理想的な睡眠時間はなく、日本人の場合は

6～8 時間が一般的とされ、それ以上も以下でも病気のリスクが高くなる。

2) 慢性的不眠が続くと高血圧症や糖尿病のリスクが将来高くなる。

また、高齢者の場合はうつ病の大きなリスクになる。

最近では睡眠負債という考えが注目されていて「普段から十分な睡眠時間を摂り平日の睡眠不足を解消しましょう」と提案されています。

3) 世代別の睡眠

若年世代は夜更かしを避けて体内時計のリズムを保つ。

勤労世代の疲労回復能率アップに十分な睡眠を摂る。

熟年世代は朝晩のメリハリと昼間に適度の運動で良い睡眠を、といったものです。

毎日の健やかな眠りが心身の健康につながるということでしょうか。

参考文献：

1. 厚生労働省健康局「健康づくりのための睡眠指針（2003）」
2. 厚生労働省健康局「健康づくりのための睡眠指針（2014）」

# ぼくたちのヒーロー

山口大学 しまふくろう

米国の偉大な宇宙飛行士にして元民主党上院議員の John Glenn が、一昨年(2017)の 12 月 8 日に亡くなった(1921 ~ 2016)。

1962 年 2 月 20 日、Friendship 7 宇宙船で彼は初めて地球を 3 回周回したアメリカ人となった。初期の多くの宇宙飛行士がそうであったように、彼も海兵隊のパイロット出身で、第二次世界大戦と朝鮮戦争に戦闘機パイロットとして出兵している。その間、3 機のソビエト戦闘機を撃墜、また自らの戦闘機にも 250 発被弾、2 度墜落した。当時はまだ米ソ冷戦時代で、宇宙開発も科学的な観点からというより、軍事的観点、すなわち相手に負けられないという、意地から行われていた。

NASA の最初の宇宙飛行士の募集に応募した際には、制限ぎりぎりの年齢であり科学の学位もなかったが、彼は臆することなく挑戦し、いわゆる Mercury Seven の一員となった。彼は決して自分の能力を疑わなかったし、チャンスも見逃さなかった。また、あきらめもしなかった。彼の Friendship 7 での飛行は、40,000 人を超える人々の協働のもとになされた、とてつもない偉業であった。そして彼 - 40 歳になる 2 人の子持ちの父親 -、だけがこの偉業に命をかけることができたのである。

グレン大佐は 1964 年に NASA を去り、私企業に就職したあと、ケネディ大統領に見込まれ民主党のオハイオ州選出の上院議員として 1999 年に正式退職するまで活躍

した。特記すべきは 1998 年、77 歳の時、スペースシャトル・ディスカバリー号で再び宇宙へ飛び、9 日間のミッションを遂行したことである。この間、宇宙飛行が高齢者の身体に及ぼす研究の被験者となった。確かそのとき採血や身体検査をしたのは、日本人の医師免許を持つ女性宇宙飛行士(向井さん) だったと記憶している。

アメリカが世界の尊敬を勝ち得ていた時代だった。そしてぼくたちはそのまぶしさをずーっと追いつけていた。

Godspeed, Mr. John Glenn

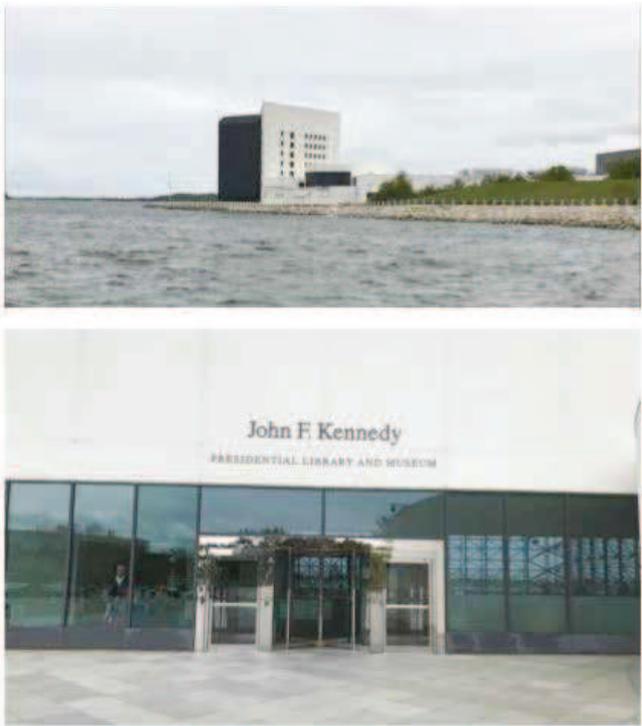


写真 1 散歩道からみた JFK 記念図書館とその正面入り口

2017 年は John F. Kennedy の生誕 100 周年でもあった。団塊の世代より遅れて生まれてきたぼくたちにも多くの影響を与えた偉大なアメリカ人が一人、また一人と遠くなっていく。

2017 年 5 月、マサチューセッツ州ボストンでアメリカ泌尿器科学会が開かれ、ひさしぶりに参加した。滞在先のホテルの近くに偶然にも JFK 記念図書館があり、海沿いの歩道を散歩がてら訪ねた（写真 1）。冷たい風の吹く雨模様の午後であった。

館内は多くの市民や家族連れでにぎわっていた。まだまだ米国で人気のある元大統領であることをうかがわせる。映写室での大統領候補になるまでの生い立ちの説明のあと、館内見学を開始した。若き日の JFK のエピソードでは、なんといつでもあの戦争のとき、魚雷艇を指揮し日本軍の駆逐艦と衝突・沈没したのが有名である。このこともあって、ケネディ家は今でも日本と浅からぬ縁がある。長女のキャロラインさんは最近まで駐日米国大使であった。あの有名な大統領就任演説の生原稿が展示され、またビデオで放映されていた（資料 2(www.jfklibrary.org) にアクセスすれば見



イラスト：司馬さやか

ることができる)。練りに練った原稿は直前まで修正が入った痕跡が残っていた（写真 2）。

Alan Shepard 宇宙飛行士が搭乗した Freedom 7 宇宙船が館内に展示され、70 年代に入るまでには人類を月に送る、というあの有名な演説もビデオで流されていた。崇高な理念と夢のある計画を国のリーダーが掲げ、それに邁進するアメリカがまぶしくみえたあの頃。

そのアメリカが変わった現代のような世相だから、なお懐かしく感じるのだろう。そろそろぼくたちも彼らに恩返しをしなければならない時期にきているのではないか。道を間違えないように、勇気を持って愛ある助言をする必要があるのでは・・・。

参考資料：

1. John Glenn. US astronaut and senator.  
Nature 541: 290, 2017
2. www.jfklibrary.org
3. LIFE : 100-year commemorative edition.  
JOHN F. KENNEDY

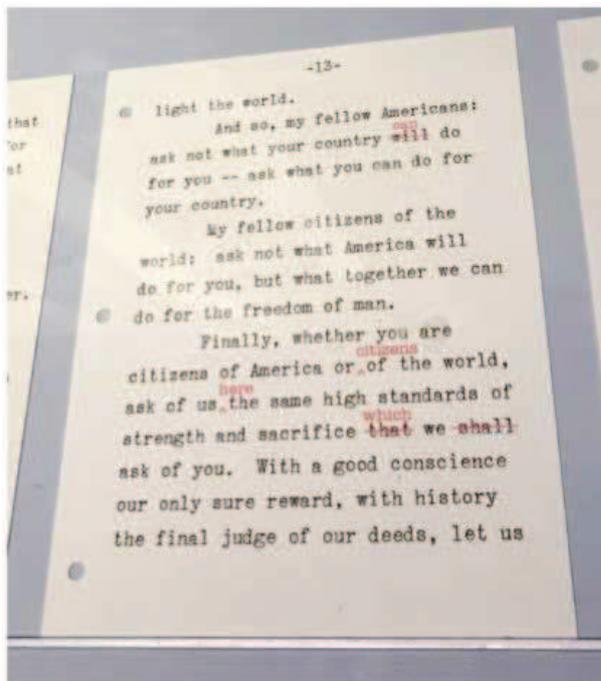


写真 2. 大統領就任演説直前まで推敲・修正された原稿：あの有名な文言がある

# われわれはどこへゆくのか

山口大学 しまふくろう

*D'ou Venons Nous  
Que Sommes Nous  
Ou Allons Nous  
1897-98*

ゴーギャンはセザンヌから学ぶことが多かったらしい。セザンヌの絵画史上の特異性は、ただ絵を描いただけでなく、絵画を幾何学的に分析して造形理論を展開し、彼の理論を身につけさえすれば、誰もが絵画を構成することができるという、

2017 年のアメリカ泌尿器科学会は東部のボストンで開かれた。訪れた 5 月のボストンは寒く、雨模様の日が続いていた。学会の合間をみて、ボストン美術館 (The Museum of Fine Arts, Boston) を訪れた。目的はただ一つ、ポール・ゴーギャンの「われわれはどこからきたのか われわれはなにものなのか われわれはどこへゆくのか」とよばれる絵画に会うためである。

1897 年 12 月、自殺を決意し、遺書として描かれたのがこの大作である。実際、幅 4m 近い大きさがある。この大作を描き上げた翌年 2 月、彼は山中に入りヒ素を飲んで自殺を計ったが失敗。その後、彼は絵より 5 年も生きのびてしまった。

この絵は不思議な絵である。ひとめでゴーギャンとわかる絵である。その左上に文字が書きこまれていて、その問いがぼくたちの心を捉えてはなさない。

最初、ぼくがゴーギャンに興味を持ったのは、サマセット・モームの「月と六ペンス」を読んでからである。もちろん創作だが、彼の複雑な性格を示唆していて面白かった。



イラスト：司馬さやか



写真1 「われわれはどこからきたのか われわれはなにものなのか われわれはどこへゆくのか」

一種の普遍性を確立したことにある。ゴーギャンは、さあ絵を描こう、というとき、「さあ、セザンヌをやりよう」と言ったほどだったという。

しかし、彼は徐々に印象派が喪失した「思想性」を絵画の中に取り込もうとしたようだ。絵画の、それ自身独立した表現としての画面から、直接感覚のみならず、思考にまで訴えてくる方法を模索した。その彼の統合主義が如実に示されたのが、この絵であると研究者はいう。

この統合主義を模索していた中で、南仏アルルでのゴッホとの共同生活。そしてあの耳切事件。彼は「窮境にあるときに、自分よりももっと不幸な人間がいることをみいだすことができた」と後年述べている。ゴッホが自殺した翌年の 1891 年、彼はタヒチへと赴いた。

ゴーギャンという画家は不思議な画家で、青年期には世界を放浪し、普仏戦争の戦闘にも参加、母方からはインカの血も受け継いだ。株式仲買人としてある程度成功し、家族も持った。そのまま人生を進んで行けば、平凡ながら幸せな一生であったはずだ。しかし、何か彼にささやいた。ついに家族を捨て、絵を描くことを選んだ。いや、絵を描くことも手段の一つだったのかも知れない。

そのタヒチに妻から届いた短い冷たい手紙。最愛の娘アリアヌの死を知った彼は、自殺を決意

し、そして1か月程で写生や下絵なしにこの大作を描いた。この作品は東洋風に三つの問いとなって流れ、右から誕生、日常、死を寓意的に表している。ここに彼はすべてのヴィジョンを叩き込み、遺書としたのだろう。前述したように、その後、山の中でヒ素を飲んだが、一晩中苦しんだだけで、死にきれず小屋へ帰っている。

悪性腫瘍がぼくの研究テーマである。特に転移とそのメカニズム、転移を支持するシステム、免疫からの逃避、ニッチを含む微小環境の問題、細胞外小胞の役割、などに興味を持っている。顕微鏡で転移巣の癌細胞やその周囲の細胞をのぞいていると、不思議とあのゴーギャンのことがよみがえってくる。われわれヒトを構成しているのは膨大な細胞群である。その一部が癌化し、遺伝子変異を繰り返しながら進化、さらにその一部が遠隔転移巣を形成する。その“現場”をぼくたちは顕微鏡下にみている。そこには単なる癌の進化をみるだけではなく、もっと根本的な問いが存在している気がしてならないのだが、どうだろう？

この絵と対峙していると、梅毒と、何度かおこした消耗性心臓発作で弱っていたゴーギャンが貧困の中で、どんな気持ち、どんな表情で、生まれ成長し、日々の生活を営みながら、ついには死を迎えるヒトというものの、果てしなく繰り返される時間とその意味を問いかけていたのか、と考えさせられる。

### 彼は何をみていたのか

参考資料：

1. 「月と六ペンス」 サマセット・モーム  
大岡 玲 訳 小学館
2. 世界の美術 20 「ゴーギャン」 河出書房新社
3. 「人類はどこから来て、どこへ行くのか」  
エドワード・O. ウィルソン 化学同人



写真2 部分拡大

## モモと時間どろぼう

徳山 中村 和行

最近亡くなった実存主義哲学者の中村雄二郎が 1992 年に発表した『臨床の知とは何か』はベストセラーとなり、今も読者が絶えません。彼が自分なりの哲学を歩みだしたのは、1970 年代の後半に『感性の覚醒』『哲学の現在』『共通感覚論』の三冊を順に発刊してからであったそうです。彼は、『哲学の現在—生きることを考えること—』の中で「よく考えることがよく生きることになる」と言っています。「よく生き、よく考えるための知恵は、哲学の根元にあってそれを私たちの生活と結びつけるものである。そして哲学するために不可欠なものとしての、いわば思考の肉体としてのことばがある」としています。

『哲学の現在』の後に発表された『共通感覚論』は、彼が言語の森にさまよって精神的にまいった大きな危機を脱するきっかけとなったもので、特別な意味をもっていると述べています。『共通感覚論』の解説では臨床精神医学者の木村 敏が、「大方の日本の哲学者はその研究の基点を古今の大哲学者がすでに確立した学説について緻密な考察を生涯の仕事と考えているが、中村雄二郎は自分の心でじかに感じ取った問題をそのまま原点にとって、そこから四方八方へ手をのばして思索を広げてゆくかたちをとっている」と述べています。折り目正しい哲学（プラトン、アリストテレス、デカルト、カント或はベルクソン等）だけでなく、哲学以外の分野でアカデミックな視点からは些か「うさんくさい」とみられているような「ニューサイエンス」の文献にまで手を伸ばすことにもなると述べています。

中村雄二郎は、『共通感覚論』の「第 4 章 記憶・時間・場所」の中で、センスス・コムニス（共通感覚）と時間の結びつきについて次のように述べています。近代のはじめにデカルトが共通感覚の座であるとした松果腺（松果体）は、現代の生理学や生化学によって生物時計を司る器官として再発見されました。デカルトは、動物精気が脳の前室から後室へと移動する通り道に松果腺が垂れ下がっており、動物精気の流れと松果腺とによって心と身とが相関するとししました。ところが、現代の生理学や生化学の発達によって松果体が人体の内分泌腺の一つとして生体リズムを司る生物時計にかかわるものとして見直されています。松果体の分泌するメラトニンが概日リズムを示すことです。メラトニンの前駆体であるセロトニンに作用する N-アセチル転移酵素は、昼間ほとんど活性を示さず、夜になると数十倍に活性が上がるということが明らかになり、松果体が時間を感じ、示す内因的な生物時計の重要な部分をなしていると考えられるようになりました。松果体が生物時計の特別な統合部分として、情報的に、一力学的にではなく一、重要な働きをしていることが明らかになったということです。デカルトの「松果腺を座とする基本的な時間を感知すること」は、まさに概日リズムを基礎とする基本的な時間を感知する共通感覚（センスス・コムニス）と言うことになるだろうと述べています。

中村雄二郎が、人間的な「生きられる時間の知覚」としての共通感覚と言え、そのことを期せずしてよく表している一つの童話が「時間どろぼうと盗まれた時間を人間にとりかえしてくれた女

の子の不思議な物語」だと述べています。ミヒャエル・エンデの『モモ』がそれです。中村雄二郎が『モモ』の特徴について述べています。

第一にモモがひとの話しの聴き上手であること、聴き上手というのは話し手の心を開かせると言うことです。人々は何か思い余って決断できないでいるとき、モモに話を聞いてもらおうと自分の気持ちをはっきりし、引っ込み思案の人にも勇気がでるといふのもそのためです。そして、話を聴くことで相手の心を開かせるといふ「場」を創ることのできる人、自らが心の開かれた人、つまり優れて共通感覚（五感のバランスの取れて開かれた統合）の持ち主であるような人（事実、カントも共通感覚を「ほかのすべての人々のことを顧慮し、他者の立場に自己を置く能力」と述べています）としてモモが描かれています。私たちが生きられる時間への感覚を失うとき、他人の心を開かせることも、他人の話しに耳を傾けることもできなくなると述べています。この生きられる時間と深く結びつけられて示されているのが、子供と遊びとが、灰色づくめの大人の「時間どろぼう」との対立・対比であり、空想を働かせる余地のなくなった機械仕掛けの精巧なおもちゃに対して昔ながらの遊びが子供の空想を育むものとして引き合いに出されています。二つ三つの本箱・破れたテーブル掛け・一掴みの小石などがあれば十分であり、そういう遊びがおのずと伴う手触りも空想も共通感覚を育むのであると。

第二に時間どろぼうとの戦いでモモを助ける老人（時間の国の主）が「人間には時間というものを感じるために心というものがあるのだよ」とモモに言っています。「光を見るために目があり、音を聴くために耳があると同時に、人間には時間を感じとるために心がある」と言っています。

ミヒャエル・エンデは、ドイツの児童文学作家で、1929年にシュールレアリズムの画家エドガー・エンデの息子として生まれ、ミュンヘンの演劇学校を出て俳優の仕事をしていましたが、子供のための本を書くようになり、1973年に『モ

モ』を世に送り出しました。この本を楽しく美しい空想的な童話形式に仕上げっていますが、大人にも子供にもかかわる現代社会の大きな問題を取り上げ、その病根を痛烈に批判しています。人々が「よい暮らし」のためと信じて必死で時間を節約し、追い立てられるようになり、巨大な情報産業におどらされて操り人形の様になり、人々は時間を奪われることで本当の意味での「生きること」を奪われ、心の中は貧しくなり、荒廃してゆきます。それとともに見かけの能率の良さと繁栄とは裏腹に都会の光景は砂漠化してゆきます。

人々は「生きること」を奪われる危機に直面した時（例えば、「がん」と知らされた時）、自己の実存が困難になったと知った時に、モモや時間の国の主の助けが必要ではないかと、モモの様な聴き上手が寄り添ってくれることを望むのではないかと思います。筆者も医療者の一人としてモモの様な存在になることを願っています。できれば、毎日の診療で時間を奪われながら一人で奮闘しておられる医療者の方々の支援もできればと願っています。



## 第 6 回能登半島すずウルトラマラソン出走記

～完走は逃したが、私にとって因縁の地である珠洲から今回は無事に帰還

宇部市 金沢 守

私は 2017 年 10 月 15 日に石川県珠洲市を中心とする地域で開催された“第 6 回能登半島すずウルトラマラソン”に出場しました。

私が出場したのは 100 キロの部です。60 キロの部もあります。普通のウルトラマラソンでは距離が短い方がスタート時間もゆっくりなのですが、この大会は 100 キロも 60 キロも 5 時スタートです。60 キロの人達はちょっと損した気分かもしれません。私は 2015 年 8 月に同じく珠洲市で開催された珠洲トライアスロンのレース中にバイクで車と正面衝突し、第 2 頸椎歯突起、左腓骨骨折を負い、約 3 か月入院する事になっています。今でも、毎年、珠洲トライアスロンの大会事務局からはエントリー開始の時期が近付くと、大会の案内が郵送されてきます。ちょっと複雑な気分です。私も珠洲を訪れるのに、ちょっと不安は感じていました。もし、2017 年の四万十川ウルトラマラソンに当選していたら、この大



会への出場を選択する事はありませんでした。四万十川ウルトラに落選したから珠洲に行かざるを得ないというのが正直なところでした。

珠洲は非常に風光明媚なところです。前日の予報は曇りでした。普通なら天候がよい事を願うでしょうが、走るとなればカンカン照りよりも、むしろ曇りがいいと感じていました。尚、すずウルトラマラソンのコースは決して生易しいものではなく、メジャーな大会の中では京丹後ウルトラとほぼ同程度の高低差があるようです。ただ、なぜ

か 100 キロではなく、102 キロあるので、その点だけは心しておかなければなりません。結果ですが、残念ながら 83 キロ地点でリタイアしています。リタイアした時のタイムは 9 時間 07 分 12 秒、即ち午後 2 時を少し回ったところでした。普通の 100 キロウルトラなら残り 17 キロ、すずウルトラマラソンは 102 キロあるので、残り 19 キロでした。(写真はリタイアする少し前のラケット道路という難所で撮影されたものです。)



レースは午前 5 時に始まっており、完走制限時間は 14 時間です。つまり、午後 7 時までにゴールすればいいので、レース後、珠洲にもう一泊するか、金沢市内に宿泊し、翌日に山口に帰る事を選べば間違いなく完走出来ていたと思います。

大会前日の私の旅程は以下のようになっています。

新山口駅 12:07 → 博多駅 12:25  
福岡空港 14:00 → 小松空港 15:20

小松空港からはレンタカーで受付会場となっているラポルトすずに向かいます。事前にグーグルマップで調べてみると、2 時間 20 分程で着くはずでした（写真）。18 時頃まで前日受付はやっているの、十分間に合うと思っていました。尚、12 時 7 分 新山口駅発の新幹線に乗る関係上、この日は金沢守クリニックの診療は 11 時半までで終了とさせて戴きました。大会終了後の復路の予定は以下のようになっています。

小松空港 19:40 → 福岡空港 21:00  
博多駅 21:50 → 新山口駅 22:24

自宅に戻ったのは 23 時過ぎでした。

石川県輪島市にも“のと里山空港”という空港があります。しかし、この空港から羽田空港に向かう最終便の出発時間は 16 時 45 分（2017 年 10 月末からは 17 時に変更）でした。これも大会会場から近いとは言え、時間的には厳しいものでした。少しでも長くレースに時間を費やしたいと思い、小松空港を選択しました。

さて、レース当日の珠洲はスタート時点で小雨がぱらついていましたが、直ぐに止んでいます。その後は基本曇りで、風の強い肌寒い位の日でした。夕方になると又、小雨が降り始めたので、ゴールが遅い時間になったランナーは寒さに苦しんだかもしれません。

私は大会前日にレンタカーで小松空港から珠洲に向かいました。車種はトヨタのプリウスで、コーナーセンサーも付いていますし、車線をはみ出すと警告アラームも鳴ります。所謂最新式でした。カーナビに前日受付の会場であるラポルトすずを入力しスタートしたのですが、あり得ないルートで案内を行っていました。小松インターから北陸自動車道に乗りました。金沢西或いは金沢東インターでカーナビを信用せずに降り、のと里山海道を珠洲に向えば、おそらく 2 時間半程で受付会場に到着していたと思います。しかし、レンタカーのカーナビは意地でも高速道路を走るルートを選んでおり、富山県経由で七尾から珠洲に向かう大回りのルートに私を導いていました。かなり肝を冷やしました。途中で宿泊する予定のホテルに電話して、このルートに関してお伺いしたりしていました。尚、このルートはグーグルマップでは第 2 選択として表示されます。



慣れない土地なので、一体どうなるのだろうと思いつながら車を走らせました。七尾からのと里山海道に戻った辺りで少し落ち着きました。しかし、ラポルトすずに着いたのが、18時半頃になっていたので、前日受付は終了していました。又、昨夜宿泊したホテルのフロントで尋ねても、珠洲から小松空港までは道路の状況にもよるが、やはり3時間程度みておいた方がいいと言われていました。レンタカー会社では、小松空港19時40分発の飛行機に乗るのなら、出来れば19時、遅くとも19時10分には給油を済ませて、車を戻すのが望ましいと言われていました。大会前には16時半に駐車場から出たらいいなと考えていました。しかし、往路でとんでもない思いをした後だけに、遅くとも15時半、出来たら15時には駐車場から出た方がいいと考えるようになっていました。つまり、大会前夜の時点で10時間半しかレースに費やす時間はないと考えていました。このタイムをこのコースで出すのは正直、絶対無理だとも感じていました。気象条件に関しては申し分なかったのですが、すずウルトラのコースは決して甘くはなかったです。又、個人的な問題ですが、私はレース当日に珍しくお腹を壊していました。エイドのトイレで1回用を足したら大丈夫かと思いましたが、約40キロ地点にある個人商店でもトイレを借りました。この時点で一度、真剣にリタイアを考えましたが、まだ体は動くので、レースは続行しました。しかし、次に又トイレに行く羽目になるのではないかと不安を抱えながらのレースでした。開会式では、大会の実行委員長

が完走メダルは出場者数の7割しか作っていないと話し、笑いを誘っています。しかし、この日は気象条件に恵まれたため、完走率は80%近くに達したものの、メダルは何とか足りたようです。リタイアを83キロエイドで告げから収容車が来るまで20分以上待ちました。又、私が飛行機の時間が気になるから、早くスタート地点に戻りたいと告げているのに、対応はむしろ鈍くて、結局、駐車場から出るのは15時40分頃になっていました。復路はカーナビの指示を悉く無視して、Googleマップで調べておいた通りの経路で帰ったところ、2時間20分で小松市内の中華料理屋さんに着く事が出来ました。結果的には、思いがけない交通渋滞などがなく16時半に駐車場から出発すれば、飛行機に乗り遅れる事はなかったと思います。16時過ぎまでレースに時間を費やせば、当然夕食に割く時間は少なくなると思いますが、そんな事より完走メダルを持って帰りたいかったです。残り19キロを2時間程で走る事は決して不可能ではないと感じただけに悔しさは募っています。これまで私は西暦の年が偶数の時には四万十川ウルトラに当選しています。四万十川ウルトラとすずウルトラは必ず同じ日に開催されます。従って2018年は四万十川ウルトラに出場する事になりそうです。2019年のすずウルトラマラソンに出場した時は必ずリベンジしたいと考えています。

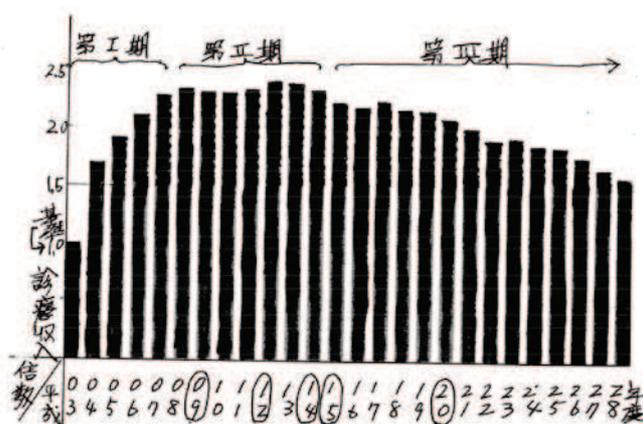


## ラスト（レポート）サムライ

下関市 塩見 祐一

2018 年は明治維新 150 年である。NHK 大河ドラマも 2・3 年毎にある幕末維新もの「西郷どん」とか。そのためかどうか知らないが、ここのところ本屋さんで「維新本」が急に目についてきた。史実は革命かつ内戦に他ならないから、僕たち長州山口県人にとっては「良かれ悪しかれ」になるだろう。そんなこんなもあって、本映画を思い出した。これを見た最初は、維新後の 1877 年に起きた西南戦争を舞台に風変わりなラストサムライが活躍するストーリーなんて全くのフィクションだと思っていた。が、モデルは確かにいた。映画でのトム・クルーズ扮する飲んだくれの主人公・オーグレンがアメリカ南北戦争での北軍大尉崩れという設定に対し、実際は函館戦争でフランスの軍事顧問として参加したジュール・ブリュネ中尉だった。

さて、2017 年一番のマイ重大ニュースと言え、不覚にも開業 27 年目にして初めて病気のため吾が診療所を 2 週間休んだことだ。日程調整をしようと“かかれ”患者さんに電話をかけまくり、“それでも”の人には“自称”病理医の長女と眼科医の妹を備えた。零細“町医者”にとっては大ごとだった。仕事に復帰してから「あったかな？」と、その昔に読んだ『会社の寿命』と『続会社の寿命』を書棚に探した。なかった。確か、前者はどんなに今景気の良い会社であってもソノ寿命はたかだか 30 年であり、後者はどうしたら会社は生き残れるかの延命策だった、と記憶する。ならば医院の本質も企業であるから 30 年のいのちで、吾がクリニックの余命はアト 3 年しかないことになる。果たしてソノ徴候の出現はどうかと、医業経営活動の生命力たる診療収入を当院開業の平成 3 年から平成 28 年まで年度別棒グラフ



にしてみた。

第Ⅰ期（成長期）平成 3 年～平成 7 年

国保連合会からの収入が社保より少なかったのは開業初年度だけだった。

…この間の社保本人負担は 1 割

第Ⅱ期（プラト一期）平成 8 年～平成 14 年

診療収入の最高額は期せずして介護保険制度実施の平成 12（2000）年であった。

平成 9（1997）年 9 月…社会保険本人 2 割負担

平成 14（2002）年 10 月…老人 1 割負担

第Ⅲ期（減退期）平成 15 年～

平成 17 年度 & 23 年度に一旦微増はあるものの一方向的な漸減をみている。

平成 15（2003）年 4 月…70 歳未満原則 3 割

平成 20（2008）年 4 月…後期高齢者医療制度

結論。個人立診療所の寿命も会社だけでなく、人や宇宙と同じく「生まれて、死んで」の一生をたどり、それはアンドロイドのようにソックリの事業承継がないかぎり開院時の年齢によると考えられた。

## 娘の新生活をどうするか？

徳山 新川 邦圭

前は娘の受験について書きましたが、無事進学先が決まれば、次に心配するのは新生活のスタートです。

アパートを探すにあたって、利便性を考えることは、もちろん大切なのですが、最優先はハザードマップを確認することです。最近、集中豪雨による洪水や崖崩れが全国で頻繁に起きていますので、利便性だけでアパートを選ぶときと後悔します。たとえ大雨が降っても枕を高くして寝られるということが大切です。

まだ引っ越して間もない 4 月 17 日は大雨で、娘から夜遅くに「周りが冠水していて大変！同じアパートの同級生も 1F から 2F に避難して来てるけど大丈夫かな？」と LINE がありました。でも、私が「ハザードマップを確認しているから問題ない。すぐ近くに川もあって、周りは氾濫するかもしれないけど、アパートは少し高いところにあるので、崖崩れも浸水の心配もないよ。」と市役所の公開しているハザードマップのアドレスを教えると、それを確認して安心して寝たようです。こういった配慮がこれからのアパート探しには最重要だと考えます。

次に大事なのは居住性でしょうか？低コストのアパート住まいとはいえ、娘の健康の事を考えると一般的なアルミサッシ+シングルガラスの部屋は選ばせません。冬はサッシ全体が結露してカビだらけになるからです。ですから、今回アパートを決める上で一番重視した仕様は、樹脂サッシ+ペアガラスを採用しているかどうかでした。でも、まだまだそういった仕様のアパートは稀少ですね。

それから、スマホのネット環境をどうするかについて検討してみました。娘の同級生は引っ越

してすぐの 4 月にソフトバンクで契約しているスマホ代が軽く 1 万円オーバーになってしまい、すぐにポータブル WIFI を契約したそうです。我が家では、スマホは、家族全員ドコモから格安スマホの OCN モバイル ONE に数年前に乗り換えしました。通話料は別途かかりますが、最近 LINE 電話の利用がほとんどで、通常の電話をかけることはほとんどありませんし、基本料金はスマホ 1 台当たり 2,000 円もしないので、息子も入れて 4 台で月々の支払いは通話料込みで 7,000 円ほどです。ただ、自宅では WIFI でつないでいますので問題ないのですが、一歩外にでると、特にお昼休み時間帯などはかなり低速です。それで、娘が引っ越すにあたって、アパートにも光回線を契約するか？お友達のようにポータブル WIFI を契約するか？とも考えたのですが、契約データ容量を超えた通信制限時の 200kb では、さすがに動画は動きが悪いことが多いですが、多くの格安スマホでは通信速度制限時には通信の初期段階ではバースト転送機能を採用しており、LINE や HP ぐらいなら通信速度制限時でもあまりストレスなく表示できます。もちろん、格安スマホは通信速度以外にもデメリットはあるので、自分の利用方法に合っているかどうかよく調べる必要がありますが、わが家にはデメリットよりもメリットの方が大きいと考えました。

[http://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2016/20160531.html?link\\_id=out\\_mobileone\\_top\\_2026](http://www.ntt.com/about-us/press-releases/news/article/2016/20160531.html?link_id=out_mobileone_top_2026)

それから契約と言えば、NHK 対策は必須です。自分の学生時代を思い出しても NHK の対応には嫌な思い出しかないですから。でも、お金のない学生にとって NHK 受信料の負担はかなりのもの

です。引っ越し前にどうするか考えておく必要があります。通常、BS 放送を受信できるアパートに、普通のテレビを買っていくと、地上波 NHK に加えて NHK-BS の両方の契約をしなければならず、年間 25,000 円程度かかります。家族割引という制度がありますので、親の口座から一括で支払うと、子供の契約分は半額になりますが、さらに受信料を合法的に安く済ませる方法があります。それは、BS 放送を受信できないテレビを買って設置することです。そうすると地上波契約だけで済むので、年間 7,000 円ほどです。娘にはドウシシャという販売会社の地デジ専用テレビを買いました。ただ、録画の為に BS チューナー内蔵の DVD デッキを、この地デジ専用テレビにつないでしまうと、デッキのチューナーでテレビに BS 放送が映すことができ、契約は地上波 + BS になってしまいますので、チューナーを内蔵していない USB-HDD をつないで録画しましょう。BS や CS を見たいのであれば、きちんと受信料を払うべきですが、民放は見るけど NHK さえ見ないのに、NHK の BS 契約なんかと思われるのであれば、一考の価値があると思います。まあ、テレビのない生活もいいかもしれません。

<http://doshisha-av.com/index.php/category/oen/oen01>

その他には、仕送りに使う銀行も考えないといけないですが、娘には引っ越し時に新生銀行の口座を新規に開設しました。私も新生銀行の口座を利用しているので、娘の口座への振込手数料がかかりませんし、ネット銀行などと違い、公共料金などの引き落とし口座にも使えます。コンビニなどでの ATM 手数料も 24 時間 365 日無料です。ただ、ネットバンキングを使う場合は、くれぐれも PC のウイルス対策とパスワード管理には要注意です。格安スマホ会社で売っている機種は中華スマホが多いですが、セキュリティを考えるのならお勧めしません。理由は、スパイウェアが入っていたという報告を良く見かけるからです。スマホは個人情報の山ですので、機種選定は慎重に！

夏休みにもなると、車の運転免許を取りたいと言いだしました。私たちの頃は、20 万円もあれば免許証を取れたと記憶していますが、近頃は

30 万円ぐらいするようです。卒業までは車を持たせるつもりはないですが、6 年もずっと運転していないと、すっかりペーパードライバーになってしまうので、自宅に帰ってきたときだけでも運転させてはどうかという話になりましたが、ここで問題になるのが任意保険です。未成年の任意保険は高額です。たまに実家に帰ってくる娘の練習のために契約する気になれませんでした。別居の未成年の子供が、実家に帰ってきて親の車に乗る場合は、臨時運転者扱いになり、親の車の保険での年齢制限は関係なく、夫婦限定にしている場合には家族限定に変更するだけで保障されます。妻の車だけ夫婦限定から家族限定にすると年間 5,000 円程度の加算で済みました。この辺りは、ソニー損保の「マンガでわかる自動車保険」が理解しやすいです。

<http://www.sonysonpo.co.jp/auto/guide/agde130.html>

一人住まいを始めて、はや半年、お金のかかることばかり、無事に娘がストレートで卒業して国家試験に合格してくれることを祈っています。



# リチャード・ドーキンス風つぶやき —ヒトの進化と疾病の進化(変化)—

玖珂 川田 礼治

海から生まれた生物（主に動物）は RAA 系を獲得する事により陸上での生活が可能となった。我々、人類も 600 万～800 万年前にサルから分かれてヒト化サルとして 2 足歩行を始めた。

2 足歩行は常に「飢餓と怪我、そして感染との戦い」であった。「飢餓」に関しては肉食獣の少ない食べ残しを take out し、残った骨さえ、石を落として割り骨髄まで食べていた（石器の始まり）。一方、「のろま」な 2 足歩行のヒト化サルはエサでもあった。「進化」の過程を鑑みれば、ヒト化サルが現代に至る（進化する）間にその体内構造を、その環境（氷河期等）毎に対応して生き残った。知的判断が出来、「火」の使用ができたのも大きなステップだったに違いない。まさに進化自体が「自然淘汰」であり、遺伝学的にも証明されている「エピジェネティクス」の本質でもある。

進化が可能になった最大の理由は状況対応力である知恵（大脳皮質の巨大化）を取得したことであろう。その知恵を利用して石器を創り、情報を伝達した。その為には細かな運動を手足・口・等に伝えるルートが必要で、それは錐体路と呼ばれる。そのルートは内包であり、それに栄養を供給する穿通枝（Strain Vessel の代表的な血管構造）はルート確保に重要な役割を果たした。石器を持って情報伝達を行いチームワークを組めた猿人たちは肉食獣でさえも食物とする狩猟を始めた。生存率を高くするために貢献したのは交感神経である。アドレナリンを分泌することで末梢血管を収縮させ、血圧を上げてケガに備え、かつ脳に十分な血液を送り、知恵をしっかりと働かせて狩猟に臨んだ。

生き残った猿人は食物を携えて帰宅し家族に分

けた。闇夜では視覚情報も役立たず興奮した交感神経を副交感神経へと切り替え、末梢である筋肉等の疲労を取る為、眠った（サーカディアンリズムの成立：体内時計が反映）。

この様に進化の観点からすれば自然界における生命の危機は様々あるものの、体内恒常システムを構築して現代に至っている。最近の研究では遺伝子や体内システムの変化には莫大な時間を要する為、様々な環境に対応が簡便な腸内細菌叢を変化させている事が判明しつつある。

長い年月（600～800 万年）をかけてヒト化サルから進化し、様々な環境に適応してきた人類だが、産業革命以来、貧富の差は著しくとなったものの、大飢餓やコレラ・チフスが流行しても人類の絶滅には至らなかった。そして、ここ 100 年（日本人は戦後 72 年）の間に社会・生活環境が変わり、「飢餓・栄養失調・餓死」から飽食の時代を反映して糖尿病や高脂血症といった疾病が極端に増加し、「怪我」に対する止血機構は脳血栓や深部静脈血栓を始めとする様々な血管閉塞性疾患を発症させた。「感染」に対する防御機構であるはずの免疫システムは「アレルギーや自己免疫性疾患」の発生を引き起こし、更には T リンパ球の PD-I 受容体がブロックされると癌の増殖の要因になる事も判明した。

人類は生き残る為に様々な体内のシステムを進化させてきたが、現代では「その進化したシステム故に発生する疾病」が多くなったのは進化すべき種ではなくなった事を意味するのであろうか？

iPS 技術は素晴らしい技術ではあるが、進化を防ぐ技術でもある。難病が治り、新たな薬が開発されていることは喜ばしい事である。しかしなが

ら一方では、進化はもう必要ではない事も意味している。

昨今の世間（世界情勢）は非常に複雑な対立関係を生じ、人類の進化により複雑に変化した社会は混沌とした状況である。各国の国益や覇権争いは基より、進化とは縁が無さそうな宗教でもその争いは著明である。その様な中、「時間だけ」は流れている。宗教での「あがめる神」の中には理解できないものもある。だからといって異教徒を

殺戮して良い訳はない。人類にとって、多種多様な価値観が存在するものの、不偏のものを神とするならば、地球の誕生以前（ヒト化サルに分かれる遥か前）から現在、更には今後には必ずやってくるであろう未来！

その様な事を考えながらつぶやくのは『時の流れ』だけが神なのかも！』と・・・。



**週末は野良仕事**  
—色々作ってみたのですがやっぱり・・・—  
山口市 緒方 正彦

家庭菜園の良いところは、珍しいものや香味野菜など、ちょっとだけあれば良いものを作れることです。野菜作りを始めたころは、好奇心から色々なものを作っていました。

**シソ**

本を見ると栽培は簡単とあります。しかし、ポット植えしてみると、どうもうまく発芽しません。発芽後も何故か苗が消えてしまいます。原因はスズメが新芽を食べていたようです。次に畑に直播してみました。発芽が極端に悪く半ばあきらめていました。しかし翌年植えていた場所に自然に生えてくることに気が付きました。その後は毎年シソの実がはじけ始めた後に抜去して神官のお祓いを真似て畑のあちこちで振り回しておく、至る所に発芽しました。不要な苗は間引きすればOKです。

**ゴボウ**

発芽が少し難しいのですが、その後は病気が少なく育てやすい野菜です。ただ掘り出す作業が大変です。よく途中で折れてしまいます。また、小石や未熟な堆肥等障害物があると根が二股になったり割れたりして使い道がなくなってしまいます。

**ゴマ**

割と作りやすく結実したところにアズラムシが付くので駆除すればたくさん収穫できます。でも、軒下に干していたら風で全部飛んでいっちゃいました。ゴマは買った方が安上がりです。

**エシャロット**

フランス料理にでてくる白い細面のラッキョウに似た野菜です。淡白な野菜で特に美味ではないのですが、なんとなくリッチになった感じがし

ます。いざ植えてみると出来上がりは日本のラッキョウとよく似ています。ラッキョウは子供のころ父が作っていたので、よく知っています。どう違うのかなと思って口にしてみたら辛いものって思わず「ペッペッ」と吐き出してしまいました。もちろん家族は誰も食べてくれないのでコンポストに直行です。調べてみると、ラッキョウを軟白栽培してエシャロットとして市場に出すことがあるそうで、手に入れた球根もおそらく普通のラッキョウだったのでしょう。(ちゃんとエシャロットと書いてあったんですがね。) これは失敗でした。

我が家は共稼ぎなので夕食を準備する時間がなく、食材宅配サービス会社にお世話になってます。ですので、実はあまり野菜は必要ないのです。朝食の際のキュウリ、ミニトマト、スナックエンドウ。家内が休日は家族に手を掛けたものを食べさせてやりたいということで、肉じゃがやポトフに使うジャガイモ、冬はおでんのための大根あたりが常連となっています。結局、最近定番の野菜がメインになってしまいました。しかし取り立てのシャキシャキしたキュウリや完熟したトマトはお店のものとは味が違い感動ものです。

**教訓**

- ・栽培に手間がかかるものは避けましょう。
- ・買った方が安いものは素直に購入しましょう。
- ・奇抜なものを作っても食べなければ無駄な努力です。
- ・毎日の食卓に並んでいるものを作りましょう。

作りやすいもの	オクラ、ニガウリ、インゲン、エンドウ、ソラマメ、サツマイモ、ダイコン、ショウガ、タマネギ、コマツナ、シソ、ミニトマト
中間	ナス、トウガラシ、キュウリ、ニンニク、ホウレンソウレタス、キャベツ、ネギ、ミツバ
作りにくいもの	トマト、スイカ、メロン、セロリ

作りやすい野菜

最初は栽培にあまり手のかからないもの、病気の少ないものからチャレンジすると良いと思います。

概して葉物、アブラナ科とマメ科は作りやすく、ナス科とウリ科は難しいと思います。ただし葉物、アブラナ科は害虫がよく付くので駆除が大変です。住宅地で農薬を散布するのは憚られますからね。散布しても安全な農薬もありますが、今一つ効果が弱いです。

苗には耐病を謳ったものがあります。接ぎ木したもの(スイカにユウガオの台を接いだものなど)や、品種改良して耐病性を持たせたものがあります。少し割高なのですが、確かに病気が少ないです。キュウリはまめに葉を整理して風通しを良くして置かないと、うどんこ病にかかりやすいのですが、耐病苗であれば少くとも手も抜いても大丈夫です。また発病しても早めに対処すれば病気が進みません。手間をかける時間がない方にはお薦めです。

野菜と日差し

我が家のように宅地の畑には隣家の日陰になってしまう場所があります。野菜によっては日差しを好むもの、嫌うものがありますので、植え付け場所を考える必要があります。連作障害との兼ね合いも有りますので、狭い畑の場合はローテーションを考えた上での植え付けが必要です。そのため、毎年、畑の図面を作ってプランを立てるようにしています。また、起こった出来事(特に上手くいかなかった時)も図面にメモしています。例えば、キュウリがうどんこ病でやられやすい場所だとか、隣家の日陰となり日照時間が少いためサツマイモが育たなかった場所などです。過去の記録を参考にして別の場所に植え付けます。そうすると場所により植え付ける野菜が決まってきます。連作障害<sup>\*</sup>を避けるための対策として、なるべく区画を小さくして分散して植え付けるようにしています。

※連作障害：同じ場所に同じ科の作物を栽培し続けると次第に生育不良となっていく現象。

— 次回へ続く —

強い日差しを好むもの	ウリ科、トマト、ピーマン、トウガラシ、サツマイモ、オクラ、ブロッコリー
比較的強い光を必要とするもの	豆類、キュウリ、カボチャ、サトイモ、ダイコン、ニンジン、ホウレンソウ、ゴボウ、カブ、スイートコーン、キャベツ、セロリ、タマネギ、カリフラワー、ハクサイ
日当たりが悪くても耐えるもの	イチゴ、ショウガ、ネギ、ニラ、アスパラガス、サラダナ、レタス、エンドウ、ハーブ類
弱い日差しを好むもの	ミツバ、ミョウガ

## なぜ此处に 第 2 話（前編）

徳山 吉次 興茲

この写真は山口県医師会報の平成 29 年 1 月号・炉辺談話に載せたものです。私は毎年のように初夏にはハスの写真を撮りに行きます。山口の源久寺を撮り終え次の撮影地へと国道 375 号沿いを走ると、バス停にあるベンチの下に女もののパンプスが置いてありました。ブルーの上品な靴でしたが、型崩れもなく、とても捨てていったようには見えず、忘れたものならすぐ取りに来たでしょう。いったい誰が、どうして置いていったのでしょうか。取りに来られない理由とは。

あなたはこの靴にどんな物語を想像されますか。

### そっと置かれたパンプス

高校 2 年生の時、1 学年上の先輩を好きになった。高校を卒業して町工場の事務員に就職したとき、彼は左官見習いだった。終わる時間はばらばらだったが、何とか会える時間を作って片時の幸せを味わっていた。

それから暫くして身ごもった。見合い結婚だった厳格な両親はとても許してくれなかった。何度か怒鳴り合いが続いた 1 週間後に鞆一つで家を飛び出した。玄関まで見送ってくれたのは弟だけだった。

運よく彼も彼の両親もおおらかな人達で、転がり込んだ私をちょっと物珍し気に迎えてくれた。彼は 3 人兄弟の次男だったから、義母さんも女



の子がほしかったと言って優しくしてくれた。

あまり広くない田舎町、うわさはすぐに会社に知れたが、人手不足だったためか、社長はそのまま仕事を続けさせてくれた。つわりはひどくなかったので何とか出産間近まで勤めができた。話し合っって出産前に籍を入れた。無事生まれた子は 2,850 グラムの男の子だった。認めてもらえるはずはなかったから子供が生まれたことは実家には知らせなかった。どうせ狭い町だ、すぐ分かる。

そのまま義母に子供の面倒を見てもらいながら働いたが、昼休みには家に帰り母乳を与え、また慌てて引き返す毎日だった。子供を育てるお金を得るために夜はコンビニのバイトを始めた。幸い体は丈夫だったから言葉どおり、がむしゃらに働いた。

子供が 2 歳になった時、彼の両親から、3 人で暮らしたらどうかと言われた。保育所代わりに朝子供を預けて来て、夕方連れて帰れば良いとも。彼女にとっては夢のような話だった。

いくらおおらかな両親とは言え、やはり義理の両親だ、18 年間違う人生を歩いてきて、突然家族になって戸惑いの連続だった。聞けば教えてくれるが、「そんなことも知らないか、どんなしつけられ方をしたんだ」、そんな風に言われはしないかと勘ぐってしまう。自分はいいが、自分の親の育て方を笑われはしないかと、ふと思って苦笑した。捨てたはずの両親なのに。

夫は「いいじゃないか、3 人で暮らそう」と事も無げに言った。暮らしてみると案外、いろんな細々とした用事があった。今更ながら義理の両親のありがたみが分かって嬉しかった。しかし、どんな苦労も 3 人での苦労は、それもまた何かしら楽しみでもあった。

久しぶりに日曜日に休みが重なった。

「ねえ、達ちゃん、今度の日曜日、淳を連れて遊園地に行かない？」

「おっ、いいね。最近、あまり 3 人で出かけてないからな」

弾む気持ちで淳の好きな卵焼きには 2 種類の味を付けた。有り余るほどのお弁当になった。

3 歳になったばかりの淳は、あれに乗る、これに乗りたいと、はしゃいで走り回った。

「なんだか昔を思い出すね」

「学校さぼって、時々ここにも来たな」

ちょっとの間 2 人きりの感じを取り戻した。

アッと思ったときは遅かった。淳が転んでベンチの角でしたたか頭を打った。

「ジュン、ジュン」

血の出る頭を押さえ、体をゆすりながら悲鳴に近い声で叫んだ。夫は慌てて 110 番に電話した。パトカーと救急車が来て、そのまま病院に連れて行かれた。淳は救急車の中で意識を取り戻し、「わあ〜」と大泣きした。病院では MRI を撮られた。血腫はなかったが念のためと言われて 1 日入院することになった。夫が入院の支度に帰宅して実家に寄り経緯を話した。夫と一緒に義理の両親がやってきて、さすがにその時はきつく叱られた。ぼろぼろ泣きながら「すみません、すみません」と繰り返すばかりだった。

淳の額には今でもキッポが残っている。

何で浮かれてしまったんだろう、淳あつての自分なのに。淳の額の傷跡を見ては思い出す。

あれから少し夫の実家が遠のいた気がする。悪いのは私だ、しかし義理の両親の顔を見ると、初めてきつく怒られたことを思い出して足がすくむ。夫は「気にするな」と言ってくれるが、引かかった小骨のように、ことあるごとに心が痛む。

そんな淳がもう 5 歳になった。夫は見習いを卒業して正規の職員になり部下を指導する立場になっていた。私もベテランの事務員と言われ、後輩もできた。バイトもやめていた。生活も心も少しゆとりが出来た時、それは起こった。

夫が事故にあった。たった 2 m の足場から落ちた。朝、ちょっとだるいと言って出かけた。

「休んだら」と言ったが、

「仕事を押してるから」

「無理しないでよ」

「ああ、わかってる」

それが夫との最後の会話だった。

昨日から微熱気味で、動きが悪くなるからと命綱を付けずに上がったという。「僅か 2 m、落ちてもどうってことないよ」。みんなも時々あることらしく、監督も見て見ぬふりをしていたそうだ。落ちた場所が悪かった。資材ブロックの上だった。後頭部をしたたか打って、病院に運ばれた時も一切意識は戻らなかった。

淳の手を握りしめ義母さんの胸でヒイヒイと泣いた。最後は声も出なくなっていた。

初七日が終わっても心は定まらない他人事のような態度が続いた。義父母に預けた淳は事実が分からず、夫の実家に一緒に居候していたが、みんなが相手をしてくれるのを楽しんでた。

会社は復帰を待ってくれるという。幸い義理の両親は「また一緒に暮らせばいい。淳もその方がいいだろう」と言ってくれた。(つづく)

## なぜ此処に 第 2 話（後編）

徳山 吉次 興茲

四十九日も過ぎ、やっと会社に出られるようになった。それから 6 年、七回忌も滞りなく終え、更に 2 年が経った頃の何となく人心地ついたような気になっていた日だった。夕飯の献立を考えながら会社を出て暫く歩いた時、

「ねえさん」

たった一人の実弟から声をかけられた。何年も会っていない、たった一人の弟。

「あっ」と息をのんだ。

「貴ちゃん…、どうしたの、こんなところで」

「姉さんを待っていたんだ。ちょっと時間ある？」

「いいけど、何？」

「うん、じゃあちょっと歩こうか」

暫く繁華街を歩いていくと人通りが少なくなり、町はずれの橋の上に出た。

「母さん、がんの末期なんだ」

思わず立ち止まった。

「いつから、まだ若いのに、53 だよ」

それだけ言うと、あとは声にならなかった。

「一度会ってくれないかなあ」

「どの顔を見せられるの、今更。育てられた恩も忘れて、後ろ足で砂かけて出た私が」

「もう母さんも、何も思っていないよ。まだ残しである姉さんの高校の制服」

「えっ、そうなの。でも行けない。行けないよ。行けるわけじゃないじゃん。私は死んだの」

「義理の兄さん死んだんだってね」

「どうして知ってるの」

「狭い町だよ、伝わるよ」

「そうか…」

「初孫、抱きたかったそうだよ」

「えっ」

「分かるって、狭い狭い。遊園地で怪我したのも知ってるよ」

「なんでなんで、みんな知ってるの」

「俺、時々見に行かされてたもん」

「……………」

川向うに見える町の光がにじんでいった。

「帰れない、帰れるわけない」

半分うわごとのようにつぶやいた。

「すぐじゃなくてもいいから、まだ母さん大丈夫だと思う」

どうやって家までたどり着いたか分からない。

「遅かったね」

義母が言った。

「すぐ夕飯の支度します」

「いいよ。半分私がこしらえた」

「すみません、本当にすみません、居候しながら」

「何言ってるんだい、いまさら。おや、トイレトペーパーは、味噌、何も買ってないの、どうしたの。あんたらしくない」

「すみません、すぐ買ってきます」

「いいよ、もう遅いから、明日でいい」

部屋に戻って淳が寝たのを確かめてから、音をたてないように引き出しを開けた。取り出した箱を開けそっとパンプスを手に取った。つま先も踵も少し擦り切れている。よく見ればところどころにシミもついている。なぜか家を飛び出したとき一緒に持ち出していた。母親が彼女の就職祝いにと買ってくれたものだった。

母が死ぬ。

もうたくさん。死ぬのはいや。誰が死んでも嫌。

私が我が儘をしたから、神様が罰を与えたんだ。彼と過ごした 6 年間は天国だった、どんなに体がしんどくても、つらいと思ったことはない。一緒に過ごす時間が楽しかった。その見返りに地獄が待っていた。ぼたぼたと涙が落ちた。みんな私が悪いんだ。彼が無理して仕事に出たのも、そのために死んだのも私たちの生活を支えようとした為なんだ。子供にも怪我をさせた。その上、母親が末期がんだという。私が飛び出すような親不孝をしたから心労がたたったに違いない。

もう何も考えられなかった。すべてが私のせいだ。

会いに行こう、すべて謝ろう、許してもらえるまで謝ろう。明日、義母に話して、淳を連れて行こう。やっと寝付けたのは午前 2 時を回っていた。朝は何となくバタバタして、義父母には言えないまま出勤した。

会社を出てからの帰り道、バス停まで歩くうちに、ふと、母の買ってくれたパンプスを思い出した。あの時ひよっとしたら形見と思って持ってきたのかもしれない。そうだあれを履いて行こう。商店街を通り抜けていくうちに老舗の靴屋のショウウィンドウを見た。綺麗なブルーのパンプスが飾ってあった。

それに惹かれて何気なしに店に入った。

「どんな靴をお探しですか」

黒に近いグレーのスーツに紺のネクタイの若い店員が声をかけた。

あっ、この人、達ちゃんに似てる。達ちゃんもスーツ着せたら、この人よりもっと格好いい。そういえば達ちゃんのスーツ姿は見たこともないな、披露宴もしなかったしなあ。

今更自分の通勤服のみすぼらしさに店を出ようとしたときに、

「こんなブルーのパンプスはいかがですか。お似合いですよ。お嬢さん、盛装なさったら、きっと映えると思います」

「何言ってるの、子持ちのおばさんに」

「えっ、結婚されてるんですか。失礼しました。とてもそのようには見えませんでした」

「へえ～、口がうまいのね。悪い気しないけど」  
こんな軽口たたくのは何年ぶりだろう。達ちゃん

んが亡くなってから、ろくに若い人と話をしたことがない気がする。

「いえいえ、本当に独身のような雰囲気でしたので」

なんとなく心が解放された気になって店を一通り見て回った。

「そのブルーのパンプス買います」

一生に一度の贅沢だ。達ちゃんも許してくれるだろう、よく似合うよって言ってくれるかな。これを履いて母の見舞いに行こう。

「お母さん、元気そうじゃない」

弟から聞いていたのか、それほど驚きもせず、ああ、と言った口の動きで私を見つめた。

家を飛び出したときの母親の姿とは似ても似つかない痩せた老婆がベッドで横になっていた。

付き添い代わりに弟から水を一杯もらおうと

「ご、ご飯食べてるかい」

「なに言ってるの、ちゃんと食べてるし、淳も大きくなってよ」

「あっ、淳ちゃんだね。おばあちゃんだよ。大きいねえ。もう中学生？」

眼鏡をかけながら笑顔で声をかけた。

「今年、一年生です」

「そうかい、そうかい、えらいねえ」

顔をくしゃくしゃにして初孫に話しかける母親を見ているうちに突然涙がこみあげてきた。

「花、代えてくる」

そっと病室を出ると自然に涙がしたり落ちた。流しの水道をひねって手を水に遊ばせながら、気持ちが落ち着くのを待って、花瓶に花を挿し病室に帰った。

「幸子、母さんのあげた靴、まだ持っていてるんだねえ」

「えっ、これ」

「就職祝いにお父さんと探したんだよ。嬉しいねえ。まだ持っていてくれたんだ」

「見えるの、靴」

「なんとなくね、色とか感じとか」

「母さん、姉さんの靴、ちが」

「そうだよ、お母さんがくれたの、まだ持ってるよ、ちゃんと履いてるよ、大好きな靴だよ」

最後は声にならなかった。  
 「ありがとね、ありがとね」  
 母も涙に顔をゆがめながら嬉しそうにそう言った。そして何度も頷いた。

「疲れたから寝るね」  
 母の言葉を聞いて、私たちは病室を出た。病院前のバス停では 3 人とも黙ったままだった。  
 弟に見送られ、淳と二人バスに揺られながらポーッと窓の外を見ていた。  
 何で新しい靴を履いてきたんだ。いや、どうして買ってしまったんだらう。  
 何もかも忘れてこの年まで必死に生きてきたはずなのに。あれから 12 年、達ちゃんが死んだとはいえ、淳はちゃんと育っているし、私も事務員をきちんどこなしている。少しはまともなところを見せて安心させてあげよう、本当は親に対する見栄かもしれない。夫を亡くして落ちぶれている娘じゃないんだと見せたかったのかもしれない。

バカな意地だ。  
 また神様に叱られた。  
 バス停に着いた。  
 そっと靴を脱いでベンチの下にそろえる。砂利道は思った以上に痛かった。  
 「お母さん、どうして靴脱ぐの」  
 「悪いことしたから罰受けてるの。父さんに叱られてるみたいでしょ」  
 笑おうと思った。しかし自然に涙がこぼれた。  
 「母さん頑張るぞ」  
 嫌がる淳の手を握りしめ、痛む足を踏みしめながら大きく歩きだした。  
 淳はもう自分の背を超していた。





## 子育て支援フォーラム in 山口

# 子育ての応援と ゼロ歳児からの虐待防止を目指して

その子は、  
助けをを求めることを  
知らないかもしれない。



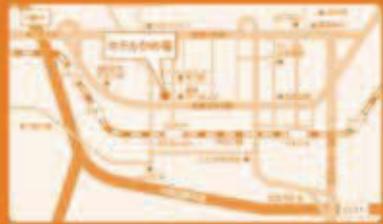
参加費  
**無料**

先着  
**300名**

児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには、従来の早期発見・早期対応に加えその発生を予防する取り組みが必要です。そのため、妊娠・出産・子育てに対する具体的な対応を含め、社会全体で取り組む必要があります。次世代の健全な育成という観点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

**日時** 平成30年1月27日(土)  
14:00-17:00

**場所** ホテルかめ福  
ロイヤルホール



### プログラム

1. 開 会	14:00
2. 授 課	14:00~14:10
3. 基調講演	14:10~15:00
4. シンポジウム	15:00~16:20
5. 封 鎖	16:30~16:55
6. 閉 会	16:55~17:00

### 参加ご希望の方は 郵便・FAXまたはEメールにてお申し込みください

ほかで・FAXまたはEメールには 1.郵便番号 2.住所 3.氏名 4.電話・FAX番号  
を必ずご記入の上、お送りください。

〒753-0814 山口県山口市吉敷下裏3-1-1 山口県総合保健会3階  
山口県医師会

FAX: **083-922-2527**

E-mail: [gyakutai@po.med.or.jp](mailto:gyakutai@po.med.or.jp)

申込締切：平成30年1月19日(金)必着

お問い合わせ  
**083-922-2510**(山口県総合保健会) <http://www.yamaguchi.med.or.jp/>